

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
堺区広報紙題字募集		堺区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R2
小中学生を対象に、堺区広報紙の題字である「堺」の文字を書いた書道作品を募集することで、子どもたちを中心にその保護者など多世代の区民に、より親しまれる広報紙とすることを目的とする。	小中学生が書道作品を発表する場を提供することで、子どもたちの今後の励みや活躍につなげることができ、子どもたちの健全育成に寄与することが期待できる。 また、広報や展示を通じて、区民が堺区に関心をもち、郷土愛の醸成につながるとともに、堺区広報紙を身近に感じてもらうことで、親しまれる広報紙となることが期待できる。	事業告知人数(名)	6,500	8,600	8,600
		応募者数(名)	477	869	804
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 最優秀書道作品は堺区役所が編集・発行している広報紙の題字となるため、区が実施する妥当性がある。また、最優秀書道作品が区広報紙の題字となることで広く区民の目に留まり、広報紙への親しみや堺区への関心、延いては郷土愛の醸成につながることが期待できる。	○ 次世代を担う堺区在住・在学の全小中学生を対象とし、堺区内の全小中学校及び堺区民との協働のもとに実施できている事業であるといえる。	○ 広報紙の顔ともいえる題字に子どもの書道作品を採用することで、多くの方にインパクトを与えることができる。また、日本の伝統文化である書道の作品を扱うことで、「歴史文化のまち堺」らしい事業であるといえる。	○ 堺区内の全小中学校の協力により、事業対象である子どもたちとその保護者に効率よく事業周知と募集ができています。また、最優秀書道作品が作者の堺区への思いとともに広報紙に掲載されることで、広くその他の区民の目に留まり、効率的な事業周知が図られている。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 今後、書道作品の募集において他団体(文化財団等の民間の芸術関連団体等)との共催等の方法を検討し、自立発展の可能性を検討する必要がある。	○ 昨年度から小学3・4年生まで対象学年を広げ、ひらがなの「さかい」で応募できるようにしたこともあり、大幅に応募数が増加している。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で学校が一時休校となったが、応募作品総数は昨年度に引き続き800点を超え、事業対象である子どもたちとその保護者や学校関係者等に注目されている事業であるといえる。最優秀作品12点と優秀作品44点の計56点は高層館1階北側ロビーで1月に約10日間の作品展示を行い、好評を得た。子どもたちの今後の励みや活躍につなげることができている。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	小中学生が堺区に関心をもつよききっかけづくりとなるとともに、区民により親しまれる広報紙となる一役を担っている。昨年度より対象学年となった小学3・4年生は、今年度も317点と多くの応募があったため、今後も対象年齢に含める。学校から児童・生徒に募集チラシが配布されることで、事業対象である子どもたちとその保護者に効率よく事業周知と募集ができています。当面は現行の募集方法を継続する。				